

あしや子ども風土記

芦屋の地名をさぐる ⑧

町名のいろいろ(6)

芦屋の町名は、山と海の豊かな自然環境や、古代から現代にかけて起こったさまざまな出来事が、町名に受け継がれています。

由来を考えていくことで、人々の暮らしと町名の関わりや、地域の歴史や文化の再確認をすることができると思います。

宮塚町

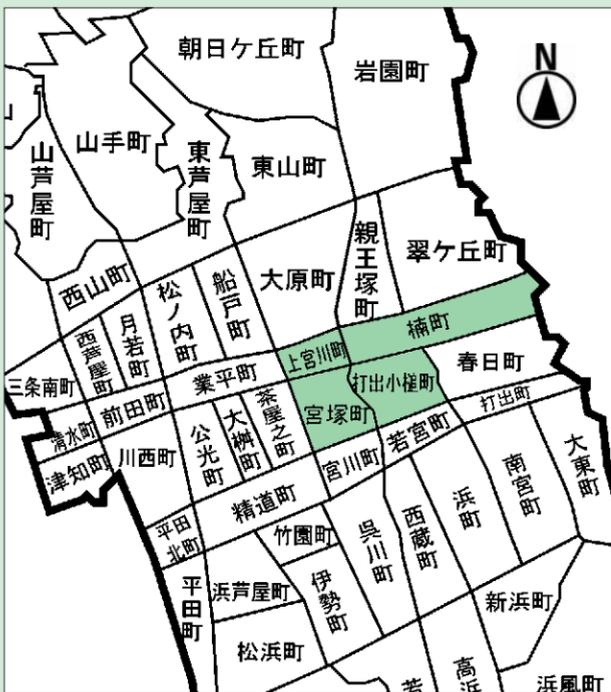
『打出史話』(一九四〇)という本に、宮川の西、西国街道の南、字宮塚十四番地の田んぼの中に、宮塚と呼ばれた円墳塚があり、その上に一本のセリダンの木が生えていたが耕地整理のために取り壊された」と書かれています。

宮塚の町名は、この塚の名によります。宮塚町は、昔は西国街道に面した打出村の農地でしたが、大正十二年(一九一三)ごろか



西国街道のおもかげを残す西国橋

ら昭和の初めにかけて、交通や道路が整えられるに従い、新しい住宅地になりました。



打出小槌町

『撰陽群談』(一七〇二)という本に、昔、打出村にお金持ちが住んでおり、ある小槌を持っていました。この小槌は、それを打ち振ると何でも願い事がかなえられるという宝物でした」と書かれています。打出小槌の町名は、このような伝説をもとにしてつけられたと思われる。小槌のほかに翠ヶ丘・親王塚・楠・春日・大東・南宮・若宮・浜・西蔵の十町にも



阿保天神社

上宮川町

昔の打出村を代表する川が宮川です。もとは打出川、都川と呼ばれていました。大正時代まで、川の両岸は松の木が多く、ホタルが飛び交い、打出の名所になっていました。下流に金刀比羅神社が祭られていたため、宮川と呼ばれています。

打出村は明治以前からかなり大きな集落があったところで、宮川に沿った上宮川町も昔の西国街道に近く、早くから開けたところでした。昭和二年(一九二七)阪神国道(国道2号)が開通し、国道に沿った上宮川町・茶屋之町・津知町などの住宅地の造成が進められました。町名の「上宮川」は、宮川の上流にあたる地形によります。阿保天神社の名称は、阿保親王ゆかりの地であることによります。



国道2号沿いに立つ「大楠公戦跡」碑

宮川よりも東側、JR東海道線と国道2号に挟まれた細長い地域が、楠町と呼ばれています。同町は、斧塚・堂ノ上清水谷・深敷・山ノ神・福地の七つの小字からできたもので、クスノキの町名は芦屋を舞台にした戦いの歴史に係る

楠町

ものなのです。南北町時代に合戦が行われ、歴史上の人物として有名な楠木正成や足利尊氏が、この辺りで戦ったといわれています。歴史学者の調査をもとに、戦時中に村人によって堂ノ上に楠公戦石碑が建てられました。昭和十九年(一九四四)の町

名改正では、この戦跡碑をもとに打出楠町となり、昭和四十三年以来の住居表示制度によって現在の町名となりました。



国道2号沿いに立つ打出一番通の碑

●平成九年に発行したあしや 子ども風土記 芦屋の地名をさぐるを紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

10年以上消費者金融に支払いを続けている方は、**広告** お金が戻ってくる可能性が高くなります。なお、140万円を超える過払い金の請求は、法律上弁護士しか扱えませんので長期にわたって支払いを続けておられる方は、ご注意ください。

過払金請求交渉と任意整理は相談料・着手金ともに無料

年中無休(土・日・祝) 平日は夜9時まで営業 弁護士による直接、個別面談 阪神西宮駅スグ

ひまわり法律事務所 ひまわり法律事務所 **検索**

兵庫県弁護士会所属 **弁護士 西宮** (携帯・パソコンのHPより24時間 予約申込受付) ※弁護士費用・アクセスその他詳しくは

0120-86-3150 (予約制)

阪神西宮駅えびす口北徒歩3分、国道2号線沿い(兵庫県西宮市和上町5番10号明治安田生命ビル8F)

シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。